

報道関係者各位

6月9日(日)より開幕！

特別展 「東海道五十三次」で旅気分

特集展示「源氏物語の世界」も開催

岡田美術館(館長・小林忠)では、6月9日(日)より特別展『「東海道五十三次」で旅気分 一富士に琳派に若冲も一』を開幕いたします。

2024年は、東海道五十三次の最後の宿場・庄野宿の完成から400年、また箱根駅伝第100回という節目の年にあたります。東海道第十の宿場であり、最大の難所として知られた箱根に位置する当館ではこれを記念し、歌川広重「東海道五十三次」(保永堂版)を中心とした本展を行うことになりました。

この作品が今なお高い評価を得ているのは、四季折々の美しい景色はもちろん、各地の名所・名物の情報を盛り込み、登場人物を生き生きと描くことで、旅への憧れをかき立てる点にあります。東海道の旅を夢見た江戸の人々もまた、絵を眺めては空想をめぐらせ、家に居ながらにして旅気分を味わったのでしょう。

本展では、富士山を描いた絵画の名品や、京都の人気絵師・伊藤若冲らの作品(約30件)もあわせて公開。江戸から京都まで、展示室で旅気分をお楽しみいただきます。

※「東海道五十三次」全55枚は前期と後期に分けて展示します。前期 6月9日(日)～9月12日(木)／後期 9月13日(金)～12月8日(日)



①メインビジュアル



②歌川広重「東海道五十三次 日本橋 朝之景」
江戸時代 天保4～5年(1833～34) ※前期展示



③歌川広重「東海道五十三次 原 朝之富士」
江戸時代 天保4～5年(1833～34) ※後期展示



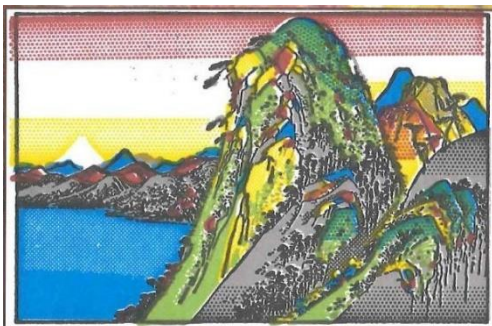
④伊藤若冲「雪中雄鶏図」
江戸時代中期 18世紀後半



⑤横山大観「霊峰一文字」大正15年(1926)

特別展関連イベント

会期中には、「東海道五十三次 箱根 湖水図」を完成させるスタンプラリーと、文化振興プログラムとして国指定重要無形民俗文化財「湯立獅子舞」の演舞とワークショップを実施いたします。



スタンプラリーで 「東海道五十三次 箱根 湖水図」を完成させよう!

7月1日(月)～9月1日(日)

クイズに挑戦しながら、館内6カ所でスタンプを押して「東海道五十三次 箱根 湖水図」を完成させると、参加特典として岡田美術館オリジナル絵はがきをプレゼントいたします。

※参加費無料(要入館料)



文化振興プログラム 国指定重要無形民俗文化財 「湯立獅子舞」演舞とワークショップ

11月2日(土)13:00～15:00(予定)

- ・小林忠館長のスライドトーク「江戸時代の街道と宿場」
- ・箱根宮城野 獅子舞保存会によるワークショップ
- ・湯立獅子舞(一本剣の舞)演舞

※参加費無料(要入館料)/定員あり/事前申し込み制(0460-87-3931)

■講演会『北斎と広重』

7月27日(土)13:00～14:30 講師:小林 忠(岡田美術館 館長)★

■関連講座『絵を読む楽しみーガイド本としての「東海道五十三次」ー』

10月5日(土)13:00～14:30 講師:稲場 朋子(岡田美術館 学芸員)

■関連スライドトーク『旅の終点・京都でやきものを楽しむー仁清を中心にー』

9月21日(土)13:00～14:00 講師:塩谷 尚子(岡田美術館 学芸員)

■館長によるスライドトーク

6月20日、8月22日、9月12日、10月17日、11月14日 いずれも木曜日13:30～

■学芸員によるギャラリートーク

6月21日～11月29日の毎週月・金曜日 11:00～ 月曜:常設展示、金曜:特別展『「東海道五十三次」で旅気分』



館長・小林忠

参加費無料(要入館料)/定員あり/★マークのついた【講演会】のみ事前申し込み制(0460-87-3931)

【予告】 夏休み イベント

毎夏恒例の人気企画を、今年も実施予定です。

朝の澄み切った空気の中でヨガをお楽しみいただける「岡田美術館ヨガ」のほか、「岡田美術館ぬりえコンテスト」では、特別展出品中の作品をモチーフに子供向け・大人向けのぬりえをご用意いたします。優秀作品には豪華賞品も! 詳細は次月リリースにて紹介予定です。

特集展示「源氏物語の世界」

平安時代中期(11世紀)に紫式部が著した『源氏物語』は成立当初から好評を博し、「源氏物語絵巻」(12世紀)をはじめ、さまざまな形で絵画化されました。とりわけ江戸時代には、分かりやすい注釈を加えた書物やパロディ本が出版され、公家や武家だけでなく庶民にまで浸透したことから、美術においても多彩な作品が生まれています。本特集では、『源氏物語』にゆかりのある絵画・工芸作品10数件により、「源氏物語の世界」をお楽しみいただきます。



⑥狩野邦信「源氏物語図屏風」
江戸時代後期 19世紀前半
※前期・後期に分けて一隻ずつ展示

右隻に第23帖「初音」、左隻に第34帖「若菜上」を描く。金具に三葉葵紋が見え、徳川家関係の婚礼調度と考えられる。



⑦「源氏物語手箱」 桃山～江戸時代 17世紀初頭

側面に「漣標」「若菜上」「若菜下」「野分」の4場面を描き、金雲には桜花や亀甲文様をほどこす。



⑧長谷川派「浮舟図屏風」 桃山時代 16～17世紀

第51帖「浮舟」から、薫大将の恋人である浮舟を匂宮が連れ出し、宇治川を渡っていく場面。2人の男性の間で揺れ動く浮舟の心を象徴的に表す。

岡田美術館について

岡田美術館は2013年10月、箱根・小涌谷に開館しました。全5階、展示面積約5,000㎡という屋内展示面積としては箱根随一を誇る広大な館内に、日本・東洋の陶磁器や絵画などの美術品を常時約450点展示しています。現代日本画家・福井江太郎氏によって描かれた風神・雷神の大壁画を眺めながら楽しめる100%源泉かけ流しの足湯カフェや、季節によって表情を変える庭園を眺めながら食事ができる「開化亭」などの付帯施設もお楽しみいただけます。



【岡田美術館に関するお問い合わせ先】

岡田美術館 広報担当:高橋・山本・川村 TEL:0460-87-3931 FAX:0460-87-3934 E-mail:pr@okada-museum.com

岡田美術館 広報用画像データ貸出申込書

広報用画像をご使用の際は下記の点にご注意ください。

- * 写真データの使用は本展覧会の紹介目的に限り、二次使用や改変（部分使用含む）は行わないでください。
 - * ご使用后 2 週間以内に、当館より貸与した写真データ（以下原データという）を記録した媒体は当館に返却のうえ、保有する原データ（作業上発生したすべての原データの複製物及び複製データを含む）は消去してください。
 - * web 掲載の際は「画像写真の無断転載を禁じる」旨を表記してください。
 - * 作品写真には「岡田美術館蔵」、作者名、作品名、制作年ほか当館の指定する項目を表記してください。スペースに限りがあり、すべての記載が難しい場合は別途ご相談ください。
 - * ご紹介いただく際は、本展の基本情報（日時・会場・電話番号・写真キャプションなど）の確認のため、校正を岡田美術館広報担当者までメールまたは FAX でお送りください。校正期間は中 3 営業日を基本として返答させていただきますので、期間に余裕をもってご送付ください。大変恐縮ではございますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
 - * 掲載時のキャプションは、画像をお送りする際にお渡しする表記一覧をご参照ください。
 - * 下記素材以外の写真データが必要な場合は、別途お問い合わせ願います。
- プレスリリースをご参照の上、ご希望の写真 No. に✓印をお付けください。

✓	No.	掲載時のキャプション
	1	展覧会メインビジュアル
	2	歌川広重「東海道五十三次 日本橋 朝之景」江戸時代 天保 4～5 年（1833～34） 岡田美術館蔵 ※前期展示
	3	歌川広重「東海道五十三次 原 朝之富士」江戸時代 天保 4～5 年（1833～34） 岡田美術館蔵 ※後期展示
	4	伊藤若冲「雪中雄鶏図」（部分）江戸時代中期 18 世紀後半 岡田美術館蔵
	5	横山大観「霊峰一文字」（部分）大正 15 年（1926） 岡田美術館蔵
	6	狩野邦信「源氏物語図屏風」（部分）江戸時代後期 19 世紀前半 岡田美術館蔵 ※前期・後期に分けて一隻ずつ展示
	7	「源氏物語手箱」桃山～江戸時代 17 世紀初頭 岡田美術館蔵
	8	長谷川派「浮舟図屏風」（部分）桃山時代 16～17 世紀 岡田美術館蔵

申し込みフォーム * フォームへの記入、もしくはお名刺の添付をお願いいたします。

貴社名			
媒体名			
ご担当者様名		TEL	
部署名		FAX	
E-mail			
ご住所	〒 —		
放送・掲載内容			
放送・掲載予定日	年 月 日	画像データ 必要期限	年 月 日
放映エリア／発行部数			
弊社社内ネットワークへの当該記事 PDF の掲載可否	可 / 否	その他、掲載条件	

★プレゼント用招待券をご希望の方は、別途広報担当にご相談ください